

矢田 藤田美希さん (三十代)



藤田さん

### 危険を感じて

当時の住まいは二階建てでしたが、川の近くに  
住んでいたため、高台にある私の実家に家族で避  
難をしました。そのときは自分たちが助かりたい  
一心で持てる貴重品を片手に避難をしました。

避難勧告をアプリで確認していましたが、早め  
に避難をする近所の住民はおらず、警戒レベル五  
の時も避難している人はほとんどいませんでし  
た。なので在宅避難をしていましたが、二階から  
外を見たときに道路に水があふれて非常に危険  
な状況になっていたため、そこでようやく避難を  
しようと決めました。

当時の自宅近くには押川と久慈川が交わって  
るところがありました。後日、近所の方から、台  
風で被害が大きくなった時間帯に旧役場の交差

点で水が渦を巻いてたという話を聞きました。ま  
た人が溺れるほどの水が押し寄せる中、自宅で必  
死に耐えていた方もいたという話を聞き、改めて  
早めの避難が大切だと実感しました。

### 大きな被害

この辺は川に囲まれた土地柄、今回の被害が大  
きくなったと思います。今回の台風十九号は、一  
メートル以上浸水した家が多かったと聞いてい  
ます。ただ、過去にもこの辺で床下浸水の被害が  
あったそうです。

被災後の片づけに関しては泥がたくさんあり、  
すごく大変でした。特に畳は、水を吸うと女性一  
人では持ちあげることができないくらい重くな  
ります。我が家は、運べるものは軽トラで、旧役  
場近くの回収場所まで往復して運びました。

### 大子の中でも被災の度合いはバラバラ

大子町の全体が被災したわけではなくて、川沿  
いの地域だけに集中してしました。旧役場周辺の  
被災した場所から車で五分ぐらいのところにあ  
るバイパス通りでは通常通り営業している店舗  
もあり、本当に場所によって被害の大きさが違い、  
複雑な気持ちでした。

### 水害に向けた対策

避難の時は通帳やお財布やスマホなど最低限  
の貴重品は必ず持って逃げましょう。貴重品がな  
いと生活に困ってしまうので。あとは必ず水・米・  
カセットコンロなどはもしものために準備をお  
勧めします。

一番言いたいのは「自分は大丈夫」と思わない  
てください。自分の身を守るのは自分だけで  
す。日ごろから貴重品などをすぐ持ち出せるよ  
うに、家族で保管する場所の共有をすることが  
大事だと思います。早めに行動することを心が  
け、自分や自分の大切な人の命を守ってくださ  
い。